

平成26年度 桃花台ひまわり幼稚園 自己評価

作成 桃花台ひまわり幼稚園

1. 本園の教育方針

- (1) 一人ひとりの個人差に応じた人格形成をもとに、個性を重んじ、知性と創造性の発達を大切にする。
- (2) 家庭および地域社会との交流を密接にし国内外の幼稚園との連携をはかる。
- (3) 身近な自然観察や社会事象にふれる機会を豊かにし、体験を通して、感性を養い、すじみちや、創造性、ルールを守ることの大切さを覚えさせる。
- (4) 地域の環境にマッチした幼児教育の施設としての文化諸行事、講演会、料理、手芸教室などの行事を通して地域の教育センターとしての役割を果たすことに努力する。

2. 本園の教育目標

- (1) 健全な心身の発達の基礎を養う。
- (2) 自分でできることは自分で行い、仲間への思いやり、仲間と協力する態度、習慣を身につける。
- (3) 身近な動植物をかわいがり、自然や社会の事象に対する関心や興味をもたせ、道徳性と思考力の芽ばえを養う。
- (4) 日常生活に必要な言語の使い方の基礎を身につけ、豊かな想像力表現力を育てる。
- (5) うたったり、弾いたり、聞いたり、手拍子を打ったり、描いたり、創造したり、などの経験を通して、創造力や個性的な表現を促して、技能を身につける。

3. 本園の今年度教育課程の各学年の目標

年少・幼稚園に親しみを感じ、喜んで登園し、園生活を安定した気持ちで過ごし、のびのびと楽しく遊ぶ。

- ・園生活の流れや基本的な生活の仕方がわかり、できることは自分でしようとする。

年中・気の合った友達と意欲的に自分の思いや考えを伝え合いながらいろいろな遊びを楽しむ。

年長・集団の中で自己を発揮し、自信を持って園生活を送る。自ら考え、自信を持って行動する。

- ・小学校への期待感が膨らむような時を過ごす。

4. 評価項目の達成及び取組状況

保育の質を確保するために、自己評価項目（Ⅰ. 保育の計画性／Ⅱ. 保育の在り方、幼児への対応／Ⅲ. 教師としての資質や能力・良識・適性／Ⅳ. 保護者への対応／Ⅴ. 地域の自然や社会との関わり／Ⅵ. 研修と研究）について1つ1つ細かくチェックリストを作成し、9月と1月に各教職員が達成度を数字で評価した。また、今回は各項目について文章でまとめ取り組みを評価した。

1つ1つ細かくチェックしていくと同じ項目の中でもできていることと、できていないことがあったので、各自年間目標を立て達成できるよう進めていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

幼稚園教育要領を基に、桃花台ひまわり幼稚園独自の教育課程を編成し、打ち合わせを行い、子ども達の発達の状況に応じた保育が出来るようにしている。教育課程を基に月案、週案を計画し、子ども達の成長・発達に合ったねらいを立て、日々の保育を振り返り、評価、改善していけるよう、終礼時に今日一日の保育を見直し、困ったことや改善点を話し合う時間を作っている。より保育者同士の協力・連携を大切にしながら、日々の保育を振り返り、評価、改善をしていき、子ども達に寄り添い、子ども達の成長に合った無理のない保育を実践していきたい。互いに保育を見せ合えるような園内研修等を計画していきたい。また、園外での研修にも積極的に参加し、研鑽を積んでいきたい。